

東日本大震災被災地復旧へ技術支援

5月2日（金）、当部後志中部農業開発事業所の職員が、災害復旧支援職員として、当部部長より派遣命令書の交付を受けました。

派遣レポート

平成26年5月7日～5月30日まで、東日本大震災により被災した福島県相馬郡新地町（以下、新地町）で農地の災害復旧に係る技術支援に行っていました。

新地町の被災状況は、浸水面積約900haのうち、農地約420haが浸水により被災しました。農地及び農業用施設にはヘドロや瓦礫等が堆積するとともに、農業用施設に損壊が生じました。

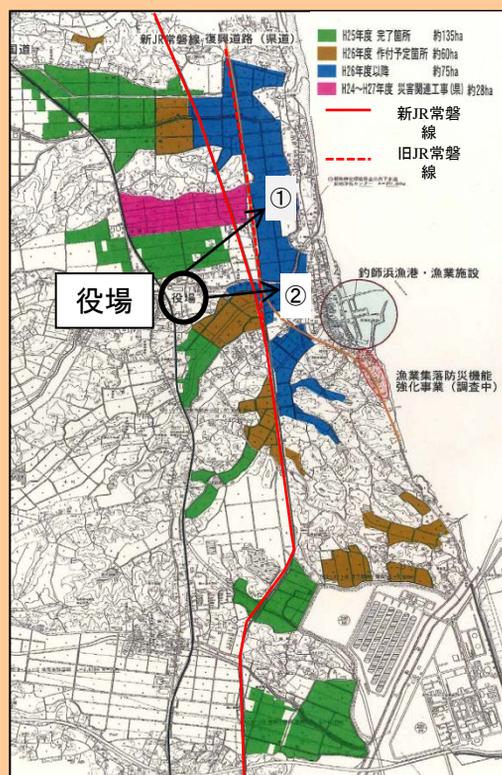
このような状況のなか、北海道開発局農業水産部は、新地町に平成24年4月から継続して技術支援を行っており、災害査定から工事発注、計画変更などに従事してきています。

平成26年度までに約200haの農地で作付が予定されており、またJR常磐線の路線位置が未確定であったため、沿岸部については未着手でしたが、現在は平成25年度にJR常磐線の路線が決定した事ともない、県道などの事業も着手されてきており、沿岸部については、ダンプトラックが縦横無尽に走り回っている状況となっています。

農地の復旧に関しては、主に平成26年度に復旧に向けた委託業務を発注し、平成27年度に工事の発注や計画変更を行う予定となっています。



新地町の位置



【JR常磐線付近復旧状況 新地町役場展望台より】